

# AOI NO UE

数年前に初めて松平頼則のオペラ「源氏物語」を奈良さんが歌っているCDを聴いて大変ショックを受けました。外国人による現代オペラをいろいろ演出してきましたが、このCDの曲と歌唱法は外国では全く聞くことが出来ない日本独特のものだと思ったのです。歌を聴いていると楽譜にどう書かれているのか想像もつかないのです。これは何か作曲家と歌手の間に秘密の関係があるのとか考えられませんが、そこでこれは是非海外で上演すべきだと思って、いたところ、幸運にも2021年早々にパリで上演されることになりました。今回はその一部を鑑賞して頂くためにミニオペラを作りました。日本独特の作曲と奈良さんの素晴らしい歌と演技、美しい存在感をお楽しみください。

坂田ヨシノ / 演出



©モリス・サカモト

## 坂田ヨシノ

1933年、兵庫県神戸市出身。大阪で狂言を学ぶ。慶應義塾大学卒業後、文学座に入団、並行して義太夫を学ぶ。劇団四季を経て、1968年にロンドンでピーター・ブルック演出「テンペスト」に出演。これをきっかけに活動の拠点をヨーロッパに移す。1970年にブルックが設立した国際演劇研究センター(CIRT)に参加。1975年にはヨシノ・アンド・カンパニーを設立し、以降、日本を代表する演劇人として世界各国で活動を展開する。主な舞台出演作品に、ブルック演出『マハーバーラタ』(1985初演)、『テンペスト』(1990初演)、『ザ・マ・プー』(1993初演)、サイモン・マクバーニー演出『春琴』(2008初演)など多数。また、『ピーター・グリーン・ウエイの杖草子』(1996)、『あつもの』(1999・毎日映画コンクール男優助演賞)、『WASABI』(2001)、『最後の忠臣蔵』(2010)『沈黙』(2017)など多数の映画作品にも出演する一方、演劇、オペラ作品の演出も数多く手がけている。オペラ演出 2017 蝶々夫人 東京芸術劇場 2019 紫苑物語 東京新国立劇場。著書『伊藤雄之助』(1989・五柳書院)は各国語に翻訳され、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、メキシコ、ギリシア、ブラジルなどで出版されている。2007年、フランス芸術文化勲章オフィシエ受勲。2013年、フランス文化勲章コマンドゥール受賞。

オフィシャルサイト <http://www.yoshiohida.com>



## 奈良良知

相模大学声楽科卒業後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に入學、メシアンに注目される。以後パリを拠点としてヨーロッパ各地で演奏活動を展開。色彩感に溢れた声と創造的な表現力は、とりわけ現代音楽の分野で注目を集め、デュシャン・ダオ、エロワ、松平頼則、平 義久をはじめ、多くの現代作曲家から曲を捧げられている。パリ・オペラ座で演奏されたメシアン「ハラウ」をはじめとして、シェンベルグ「月に憑かれたピエロ」、オハナ「三つの薔花の物語」、「サティとフランス六人組」やラヴェル「シェヘラザード」などが高い評価を受ける。更に西崎「好色一代女」のテキストを使ったジャン・クロード・エロワの「仏明会」や、松平頼則のモノ・オペラ「源氏物語」の歌い手として、日本の音楽・文化が西洋の現代音楽と結び付く可能性を明示した。東京でドビュッシー「ペレアスとメリザンド」(ジャン・フルネ指揮、東京都響)を歌う他、日本各地でクリエイティブなテーマでリサイタルを行っている。パリで開催されたメシアン生誕100年記念オープニング・コンサートでは「ミのための詩」を歌った。(Pf:ロジェ・ムラロ)CD録音も多く、「ドビュッシー歌曲集」(Pf:クロード・ラヴォワ)は、「ル・モンド」仏音楽誌で最高推薦盤に挙げられている。



## 亀井庸州

5歳よりヴァイオリン、18歳より尺八を始める。東京音楽大学卒業。ベルギー王立リージュ音楽院において、ジャン・ピエール・ブーヴィオン、ギャレット・リスト、大久保泉らに20世紀音楽、即興演奏を学ぶ。2006年、07年にはナミュール国際古楽器講習会に参加し、バロックヴァイオリンの演奏を修得。2007年より拠点を日本へ移し、室内楽、ソロ作品の初演、再演を中心として多くのコンサートに参加。尺八もスタジオワークやオリジナルアレンジなどでも演奏活動を続けている。弦楽四重奏として出演した鈴木俊嗣リコーダーサイタルにおいては第14回、伊左治重作品個展で第18回佐治政三賞を受賞。



## 山村雅治

1952年生まれ。法政大学在学中に長詩「笑礼記」を「現代詩手帖」誌に発表。詩人としてデビュー。1986年から2016年までの30年間、芦屋市に多目的ホール「山村サロン」を創設。音楽・文学・美術・演劇等、ジャンルの横断する多彩な芸術活動をプロデュースしてきた。著書には随筆「マリヤ・ユージナがいた」「宗教的人間」、詩集「笑礼記」(リブプロ社)、版権淡路大震災を契機に田実と始めて被災者生活支援法に結実した運動を書いた「自録」市民立法」(原泉書店)など多数。舞台歴は6歳のときの能楽に始まり、現在は北辰旅団の役者として活動を続ける。また、合唱指揮者としても舞台上に立つ。

## 音楽詩劇 「葵の上」 ～業のゆくえ～

SANNO AUDIUM <https://sannoaudium.tumblr.com>

お問合せ・ご予約

山王オーディウム / 東京都大田区山王1-14-7 (大森駅北口下車徒歩8分)  
TEL:03-3774-1571 FAX:03-6809-9588 e-mail:sannoaudium@gmail.com  
SANNOAUDIUMのブログ <http://ameblo.jp/sannoaudium/>

これからの SANNO CREATION 2019.9

9月13日 上田正樹 Special Live

11月24日 森下幸路 室内楽シリーズ VII「秋の大公」

12月14,15日 ピアノデュオドゥオール

